

別表 2

でき形検査基準（水産土木工事）

(1) 魚礁設置

工種・種別・細目 (レベル2・3・4)	検査内容	検査密度	検査方法
魚礁工 単体魚礁製作工 一体打ち魚礁製作	ブロック外観	全 数	実測又は資料
魚礁工 魚礁運搬・沈設工 魚礁運搬沈設 (単体魚礁)	施工位置	設計図書に示す設置位置全点	実測又は資料
	出来ばえ	一点設置方式の場合は浮標を中心として8方位を測定する。	実測又は資料
魚礁工 組立魚礁組立 コンクリート製 組立魚礁組立	出来ばえ	全個数について主要寸法を測定する。	実測又は資料
魚礁工 組立魚礁組立 鋼製魚礁組立	出来ばえ	全数について主要寸法を測定する。	実測又は資料
魚礁工 魚礁運搬・沈設工 魚礁運搬沈設 (組立魚礁)	施工位置	設計図書に示す設置位置全点	実測又は資料
	出来ばえ	設置間隔・基数が判読できるように測定する。	実測又は資料

(2) 着定基質設置

工種・種別・細目 (レベル2・3・4)	検査内容	検査密度	検査方法
囲いブロック工 囲いブロック製作工 ブロック製作	ブロック外観	全 数	実測又は資料
石材工 石材投入工 石材投入	施工位置	設計図書に示す設置位置全点	実測又は資料
	出来ばえ 全 体	縦・横断方向に各3箇所以上 50m以上の場合50mにつき1箇所	実測又は資料
	法線方向の出入り (囲いブロック無しの場合)	縦・横断方向に各3箇所 50m以上の場合50mにつき1箇所	実測又は資料
囲いブロック工 囲いブロック運搬・据付工 ブロック運搬据付 ブロック直接据付	延 長 法線方向の出入り	縦・横断方向に各3箇所 50m以上の場合50mにつき1箇所	実測又は資料

でき形検査基準（水産土木工事）

工種・種別・細目 (レベル2・3・4)	検査内容	検査密度	検査方法
単体礁製作工 ブロック製作	ロック製作工 プロ ック製作を適用する。		
単体礁工 単体礁運搬・据付工 ブロック運搬据付 ブロック直接据付	施工位置	設計図書に示す各点	実測又は資料
	出来ばえ	測定箇所 5カ所	実測又は資料
単体礁工 単体礁運搬・据付工 魚礁運搬沈設	施工位置	ブロック全数の5%	実測又は資料
	出来ばえ	全個数の1割を横断方向に測定する。	実測又は資料
産卵礁工 産卵礁製作工 ブロック製作	囲いブロック工 囲いブロック製作工 ブロック製作 を適用する。		
産卵礁工 産卵礁運搬・据付工 ブロック運搬据付 ブロック直接据付	単体礁工 単体礁運搬・据付工 ブロック運搬据付 ブロック直接据付 を適用する。		
産卵礁工 産卵礁運搬・据付工 魚礁運搬沈設	単体礁工 単体礁運搬・据付工 魚礁運搬沈設 を適用する。		
保護礁工	(1) 魚礁設置 魚礁工 を適用する。		

でき形検査基準（水産土木工事）

（３）人工干潟

工種・種別・細目 (レベル2・3・4)	検査内容	検査密度	検査方法
砂留堤工 砂留堤設置工 サンドチューブ設置 サンドバッグ設置	延長 天端高 法線方向の出入り	施工延長は100m未満は3箇所以上 100m以上は50mにつき1箇所以上	実測又は資料
盛砂工 盛砂工 盛砂投入 盛砂均し	基準高	施工延長は100m未満は3箇所以上 100m以上は50mにつき1箇所以上	実測又は資料
	延長 幅 (サンドチューブ無しの場合)	施工延長は100m未満は3箇所以上 100m以上は50mにつき1箇所以上	実測又は資料

（４）消波堤設置

工種・種別・細目 (レベル2・3・4)	検査内容	検査密度	検査方法
消波堤堤体工 消波ブロック工 海岸ブロック製作	ブロック外観	全数	実測又は資料
消波堤堤体工 消波ブロック工 海岸ブロック運搬据付 海岸ブロック直接据付	延長 天端幅 天端高 法線方向の出入り	施工延長は100m未満は3箇所以上 100m以上は50mにつき1箇所以上	実測又は資料
消波堤基礎工 捨石工 捨石投入 捨石均し	延長 天端幅 基準高 法面	施工延長は100m未満は3箇所以上 100m以上は50mにつき1箇所以上	実測又は資料
消波堤基礎工 被覆工 被覆ブロック製作	消波堤堤体工 消波ブロック工 海岸ブロック製作を適用する。		
消波堤基礎工 被覆工 被覆均し	基準高 法面	施工延長は100m未満は3箇所以上 100m以上は50mにつき1箇所以上	実測又は資料

でき形検査基準（水産土木工事）

（５） 離岸堤設置

工種・種別・細目 （レベル２・３・４）	検査内容	検査密度	検査方法
離岸堤堤体工 離岸堤基礎工	（４）消波堤設置 を適用する。		

（６） その他

工種・種別・細目 （レベル２・３・４）	検査内容	検査密度	検査方法
作 濇	底面幅 延 長 水 深 （底 面）（法 面）	施工延長は100m未満は3箇所以 上 100m以上は50mにつき1箇所以上	実測又は資料

注）この検査基準は標準を示すものであり、工事内容等を勘案し検査密度等を変更し実施できるものとする。

でき形検査基準(森林土木工事)

工種	検査内容	検査密度	検査方法
土工一般	基準高、法長、法勾配、幅、延長	施工延長200mにつき1箇所以上 ただし、200m以下は2箇所以上 なお、延長は適宜	実測
	残土処理量及び場所、土採取場所	適宜	実測又は写真等
鉄筋組立	かぶり、平均ピッチ (主要構造物の主鉄筋を対象)	1ロット当たり1箇所以上	〃
コンクリート土留工(よう壁工)	基準高、幅、厚さ、高さ、延長	施工延長100mにつき1箇所以上 ただし、100m以下は2箇所以上	実測(不明視部分は写真等)
石・ブロック積(張)工	基準高、厚さ、法長、高さ、延長	施工延長100mにつき1箇所以上 ただし、100m以下は2箇所以上	〃
補強土壁工	基準高、高さ、鉛直度、控え長、延長	施工延長100mにつき1箇所以上 ただし、100m以下は2箇所以上	〃
管(函)渠工	基準高、幅、厚さ、高さ、延長	同種構造物ごとに2箇所以上	〃
水路工	基準高、幅、厚さ、高さ、延長	施工延長100mにつき1箇所以上 ただし、100m以下は2箇所以上 なお、延長は適宜	〃
根固工、消波工 (ブロック)	基準高、幅、厚さ、高さ、延長	施工延長100mにつき1箇所以上 ただし、100m以下は2箇所以上	〃
その他の構造物	基準高、幅、厚さ、高さ、法長、延長	同種構造物ごとに図面の寸法表示箇所 の任意部分	〃
治山ダム工	基準高、幅、厚さ、高さ、延長	図面の寸法表示箇所の任意部分	〃
流路工、護岸工	基準高、幅、厚さ、高さ、延長	施工延長100mにつき1箇所以上 ただし、100m以下は2箇所以上	〃
植生工	法長、厚さ、延長	施工延長100mにつき1箇所以上 ただし、100m以下は2箇所以上 なお、延長は適宜	〃
吹付工(珪砂・コンクリート)	法長、厚さ、延長	施工延長100mにつき1箇所以上 ただし、100m以下は2箇所以上 なお、延長は適宜	〃
法枠工	法長、延長、幅、高さ、中心間隔	施工延長100mにつき1箇所以上 ただし、100m以下は2箇所以上 なお、延長は適宜	実測
基礎工(既製杭、場所打杭)	本数、基準高、根入長、偏心量、杭径	1基又は1目地間隔当たり1箇所以上	実測(不明視部分は写真等)

でき形検査基準(森林土木工事)

工種	検査内容	検査密度	検査方法
矢板工	基準高、根入長、変位、延長	施工延長100mにつき1箇所以上 ただし、100m以下は2箇所以上	実測（不明視部分は写真等）
集水井工	基準高、深さ、偏心量	1基当たり1箇所以上	〃
抑止杭工	本数、基準高、根入長、偏心量	同種構造物ごとに図面の寸法表示箇所の任意部分	〃
アンカー工	本数、削孔深さ、せん孔方向	同種構造物ごとに図面の寸法表示箇所の任意部分	〃
橋梁下部	基準高、幅、厚さ、高さ、スパン長、変位	スパン長はスパンごと、その他は構造物1基ごとに図面の寸法表示箇所の任意部分について1箇所以上	〃
鋼橋上部	部材寸法	主要部材について、寸法表示箇所の任意部分について1箇所以上	〃
	基準高、支間長、中心距離、キャバ-	1橋につき3箇所以上	〃
	床版、地覆の寸法	図面の寸法表示箇所の任意部分について1箇所以上	〃
	溶接及び架設による歪み	各スパンごと	観察
	塗装被膜厚	主要部材の任意部分について1箇所以上	実測又は資料
コンクリート橋上部	部材寸法	主要部材について、寸法表示箇所の任意部分について1箇所以上	実測（不明視部分は写真等）
	基準高、幅、厚さ、高さ、キャバ-	1橋につき3箇所以上	〃
	床版、地覆の寸法	図面の寸法表示箇所の任意部分について1箇所以上	〃
路盤工	基準高、幅、厚さ	施工延長200mにつき1箇所以上 ただし、200m以下は2箇所以上 なお、厚さは1kmにつき1箇所以上	実測
舗装工	基準高、厚さ、幅、平坦性	施工延長200mにつき1箇所以上 ただし、200m以下は2箇所以上 なお、厚さは3,000㎡につき1箇所以上（既に採取されたコアにより検査）、ただし、3000㎡以下は2箇所以上	〃

でき形検査基準(森林土木工事)

工種	検査内容	検査密度	検査方法
特殊路面工 (砂利道路面処理)	基準高、厚さ、幅、	施工延長200mにつき1箇所以上 ただし、200m以下は2箇所以上 なお、厚さは1kmにつき1箇所以上	実測
地拵え(筋刈り)	刈幅、置幅	施工面積1haにつき1箇所程度 ただし、1ha以下は2箇所以上	"
植栽工	植栽面積	適宜	実測又は資料
	植栽木の生存率 なお、植栽木は、検査時で100% 生存していることとする。	適宜 工事目的物の受渡し後、一成長 期を経過した後、枯損等の確認 をすることとする。	観察
	列間、苗間	施工面積1haにつき1箇所程度 ただし、1ha以下は2箇所以上	実測
	土壌改良材、肥料、客土使用量等	適宜	写真等資料
防風工	延長、高さ、主杭間隔	施工延長200mにつき1箇所以上 ただし、200m以下は2箇所以上	実測

注) この検査基準は標準を示すものであり、工事内容等を勘案し検査密度等を変更し実施できるものとする。